



2024年10月3日

各位

株式会社 もみじ銀行

## 地域のお客さまの脱炭素経営に向けたご支援について ～株式会社SAWADAの中小企業版SBT認定取得～

もみじ銀行（頭取 平中 啓文）は、持続可能な社会の実現に向け、カーボンニュートラルを目指す地域のお客さまの課題解決に取り組んでおります。

この度、山口フィナンシャルグループの子会社であるワイエムコンサルティング（代表取締役 宮川 泰一）の支援を通じ、株式会社SAWADA（代表取締役社長 澤田 宏紀）は中小企業版SBT（※1）の認定を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

- SBT認定された株式会社SAWADAの温室効果ガス削減目標
  - Scope 1、2排出量（※2）を2030年に2022年度比42%削減
- 株式会社SAWADAについて

企業名	株式会社SAWADA
所在地	広島県福山市南手城町1-17-11
代表者	澤田 宏紀
業種	太陽光発電システムの施工・販売業
サステナビリティ向上に向けた取り組み等	当社は太陽光発電（住宅用／産業用）の設計・施工・メンテナンスを通して「人と地球に優しい住環境創り」を提供しています。本社の使用電力は2020年7月より再エネ電力に変更し、また2023年11月には自家消費型太陽光発電設備を設置することで温室効果ガス削減に取り組んでいます。発電所は44基（総発電出力3,540kw）を所有し、社会全体の温室効果ガス削減にも貢献しています。今後もEV車の導入検討等で更なる温室効果ガス削減に取り組み、カーボンニュートラルの達成に向けて取り組みを推進してまいります。

（※1）中小企業版SBT認定：SBTiが認定するパリ協定に整合した温室効果ガス削減目標。中小企業が取り組みやすいよう中小企業版のガイドラインに則り実施。SBTiは世界自然保護基金（WWF）、CDP（旧カーボンディスクロージャープロジェクト）、世界資源研究所（WRI）、国連グローバル・コンパクト（UNGC）による共同イニシアティブ。

（※2）Scope 1：自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出量。

Scope 2：自社で他社から供給された電気、熱、蒸気を使用した事による間接排出量。

### 3. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で⑥「大気汚染・気候変動への対応」の実現に資する取り組みです。

 <p>地域社会・ 経済活性化への 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>①人口減少・少子高齢化への対応</li><li>②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート</li><li>③地域コミュニティとの連携強化</li><li>④商品・サービスの安全性と品質向上</li></ul>	 <p>環境保全への 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>⑤省資源・省/創エネルギーへの対応</li><li><b>⑥大気汚染・気候変動への対応</b></li><li>⑦環境に配慮した商品・サービス開発</li></ul>
 <p>役職員全員の 働きがいへの 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>⑧人材育成・研修機会の創出</li><li>⑨安心・安全な労働環境作り</li><li>⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&amp;インクルージョン)</li></ul>	 <p>強固な 経営基盤づくり への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>⑪ガバナンス体制・内部統制の強化</li><li>⑫経営の透明性向上と説明責任</li></ul>

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

ワイエムコンサルティング 担当：田坂  
TEL：080-4609-5493  
もみじ銀行 事業性評価部 担当：神田  
TEL：070-1430-2833